

PAT-NO: JP02000059531A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 2000059531 A

TITLE: FACSIMILE EQUIPMENT

PUBN-DATE: February 25, 2000

INVENTOR-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
HATAKEYAMA, KENICHI	N/A

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
RICOH CO LTD	N/A

APPL-NO: JP10244450

APPL-DATE: August 13, 1998

INT-CL (IPC): H04M011/00, H04M001/274 , H04N001/32

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a facsimile equipment which can register a plurality of reception functions (transmission destinations) of an opposite party in the same one easy step dial and can select a transmission destination in accordance with the situation of transmission time.

SOLUTION: At the time of registering a transmission destination to a one easy step dial, when an electronic mail address is also registered (S12) after a facsimile number is registered (S11), the electronic mail address is registered (S13). When a default, namely, one easy step dial and the like are depressed, which transmission destination is to be used is usually decided (S14) and default information is accumulated in a parameter memory.

COPYRIGHT: (C)2000,JPO

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2000-59531

(P2000-59531A)

(43)公開日 平成12年2月25日(2000.2.25)

(51)Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テマコード [*] (参考)
H 0 4 M 11/00	3 0 3	H 0 4 M 11/00	5 C 0 7 5
1/274		1/274	5 K 0 3 6
H 0 4 N 1/32		H 0 4 N 1/32	F 5 K 1 0 1

審査請求 未請求 請求項の数4 F D (全 4 頁)

(21)出願番号 特願平10-244450

(22)出願日 平成10年8月13日(1998.8.13)

(71)出願人 000006747

株式会社リコー

東京都大田区中馬込1丁目3番6号

(72)発明者 畠山 健一

東京都大田区中馬込1丁目3番6号 株式会社リコー内

Fターム(参考) 5C075 BA09 CE02 CE07

5K036 AA15 BB01 DD04 DD11 DD32

5K101 KK01 LL01 NN03 NN06 NN18

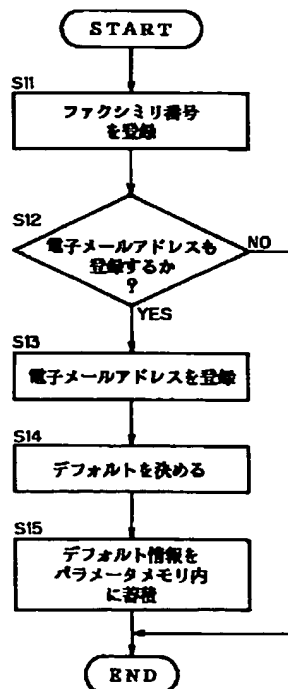
NN21 PP03 QQ07 QQ09 RR16

(54)【発明の名称】 ファクシミリ装置

(57)【要約】

【課題】 相手側の複数の受信機能(送信先)を同一のワンタッチダイヤルに登録することができ、送信時の状況に応じて送信先を選択することが可能なファクシミリ装置を提供する。

【解決手段】 ワンタッチダイヤル等に送信先登録する際、ファクシミリ番号を登録(S11)後、電子メールアドレスも登録する場合は(S12)、その電子メールアドレスも登録する(S13)。デフォルト、すなわち、ワンタッチダイヤル等を押された際、通常、どちらの送信先を利用するかを決め(S14)、デフォルト情報をパラメータメモリ内に蓄積する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 ファクシミリ番号や電子メールアドレス等の送信先を登録することができるワンタッチダイヤル機能や短縮ダイヤル機能を有するファクシミリ装置において、相手側が有する複数の受信機能（送信先）を同一のワンタッチダイヤルあるいは短縮ダイヤルに登録することができることを特徴とするファクシミリ装置。

【請求項2】 請求項1に記載のファクシミリ装置において、選択された前記ワンタッチダイヤルあるいは短縮ダイヤルに登録された複数の送信先から、送信する時間帯によって送信先を選択することを特徴とするファクシミリ装置。

【請求項3】 請求項1に記載のファクシミリ装置において、選択された前記ワンタッチダイヤルあるいは短縮ダイヤルに登録された複数の送信先から、送信する原稿の量や種類によって送信先を選択することを特徴とするファクシミリ装置。

【請求項4】 請求項1に記載のファクシミリ装置において、送信先が話し中の時、リダイヤルせずに他の送信先に送信することを特徴とするファクシミリ装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、ファクシミリ装置、より詳細には、ワンタッチダイヤル機能や短縮ダイヤル機能の有効な活用方法に関する。

【0002】

【従来の技術】相手側のファクシミリ番号や電子メールアドレスを登録することができるワンタッチダイヤル機能や短縮ダイヤル機能を具備したファクシミリ装置においては、相手側にファクシミリ装置や電子メールアドレスを有するパソコン等の複数の送信先がある場合、ファクシミリ番号や電子メールアドレス等をワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルに登録する際、それらの複数の受信機能（送信先）に対して2つのワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルを使用する必要があった。しかし、ワンタッチダイヤル等は数が限られているため、同一の相手に対して2つのワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルを使用するのは大変無駄なことである。

【0003】また、相手側にファクシミリ装置や電子メールアドレスを有するパソコン等の複数の受信機能（送信先）がある場合、送信する時間帯や原稿の量、種類によっては送信先をどちらかに限定した方がよい場合がある。例えば、昼間に送信する場合は、常にファクシミリに送信したいが、夜間に送信する場合は、急ぎではないので、電子メールアドレス先に送信したい。また、原稿の量がかなり多い場合などは、電子メールアドレス先に送信してしまうと、サーバーに負担をかけてしまい受信の際に問題が起きる可能性がある。

【0004】また、送信先が話し中である場合、その話し中の送信先に、ただ単にリダイヤルをするのは非常に

無駄なことである。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】本発明は、上述のような実情を考慮してなされたもので、相手側の複数の受信機能（送信先）を同一のワンタッチダイヤルに登録することができ、送信時の状況に応じて送信先を選択することが可能なファクシミリ装置を提供することを目的としてなされたものである。

【0006】

【課題を解決するための手段】請求項1の発明は、ファクシミリ番号や電子メールアドレス等の送信先を登録することができるワンタッチダイヤル機能や短縮ダイヤル機能を有するファクシミリ装置において、相手側が有する複数の受信機能（送信先）を同一のワンタッチダイヤルあるいは短縮ダイヤルに登録することができることを特徴としたものである。

【0007】請求項2の発明は、請求項1の発明において、選択された前記ワンタッチダイヤルあるいは短縮ダイヤルに登録された複数の送信先から、送信する時間帯によって送信先を選択することを特徴としたものである。

【0008】請求項3の発明は、請求項1の発明において、選択された前記ワンタッチダイヤルあるいは短縮ダイヤルに登録された複数の送信先から、送信する原稿の量や種類によって送信先を選択することを特徴としたものである。

【0009】請求項4の発明は、請求項1の発明において、送信先が話し中の時、リダイヤルせずに他の送信先に送信することを特徴としたものである。

【0010】

【発明の実施の形態】図1は、本発明が適用されるファクシミリ装置の一例を説明するためのブロック図で、図中、1は原稿センサ、2はスキャナ、3は用紙センサ、4はプロッタ、5は操作表示部、6は画像メモリ、7はバッテリー、8はパラメータメモリ、9は時計回路、10は通信制御部、11はモデム、12は網制御装置、13は符号化復号化部、14はCPU、15はROM、16はバッファメモリ、17はキャラクタジェネレータで、それぞれのブロックで特有の処理を行い、ブロック間でデータの送受信を行う。これにより、ファクス、コピー、プリンタ等として機能することができる。

【0011】図2は、請求項1の発明によるファクシミリ装置の一実施例を説明するためのフローチャートで、ワンタッチダイヤル等に相手側の受信機能（送信先）を登録する際、ファクシミリ番号を登録（S11）後、電子メールアドレスも登録する場合は（S12）、その電子メールアドレスも登録し（S13）、デフォルトをどちらにするか（このワンタッチダイヤル等を押された際、通常、どちらの送信先を利用するか）を決め（S14）、デフォルト情報をパラメータメモリ8内に蓄積す

3

るようにしたものである。

【0012】図3は、請求項2あるいは3の発明によるファクシミリ装置の一実施例を説明するためのフローチャートで、あらかじめ、パラメータメモリ8内に、例えば、何時ならば、電子メールアドレス先に送信をするとか、原稿が何枚ならば、ファクシミリに送信する等の送信条件情報をセットしておき（S21）、ファクシミリ番号と電子メールアドレスが登録してあるワンタッチダイヤル等で相手先が指定された際（S22）、パラメータメモリ8内の条件に適合するかをチェックし（S23）、パラメータメモリ8内の条件に適合する場合には、適切な送信先をセットする（S24）ようにしたものである。

【0013】図4は、請求項4の発明によるファクシミリ装置の一実施例を説明するためのフローチャートで、ワンタッチダイヤル等を用いて送信した際、送信先が話し中だった場合（S31）、使用したワンタッチダイヤルに、もう1つの送信先が登録してあるかどうかをチェックし（S32）、もう1つの送信先がある場合は、そちらに対して再発呼する（S33）ようにしたものである。

【0014】

【発明の効果】請求項1の発明は、ファクシミリ番号や電子メールアドレス等の送信先を登録することができるワンタッチダイヤル機能や短縮ダイヤル機能を有するファクシミリ装置において、相手側が有する複数の受信機能（送信先）を同一のワンタッチダイヤルあるいは短縮ダイヤルに登録することができるので、ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルを効率良く使うことができる。

【0015】請求項2の発明は、請求項1の発明におい

4

て、選択された前記ワンタッチダイヤルあるいは短縮ダイヤルに登録された複数の送信先から、送信する時間帯によって送信先を選択するので、送信状況に応じた適切な送信をすることができる。

【0016】請求項3の発明は、請求項1の発明において、選択された前記ワンタッチダイヤルあるいは短縮ダイヤルに登録された複数の送信先から、送信する原稿の量や種類によって送信先を選択するので、送信状況に応じた適切な送信をすることができる。

10 【0017】請求項4の発明は、請求項1の発明において、送信先が話し中の時、リダイヤルせずに他の送信先に送信するので、送信状況に応じた適切な送信をすることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明が適用されるファクシミリ装置の一実施例を説明するためのブロック図である。

【図2】 請求項1の発明によるファクシミリ装置の一実施例を説明するためのフローチャートである。

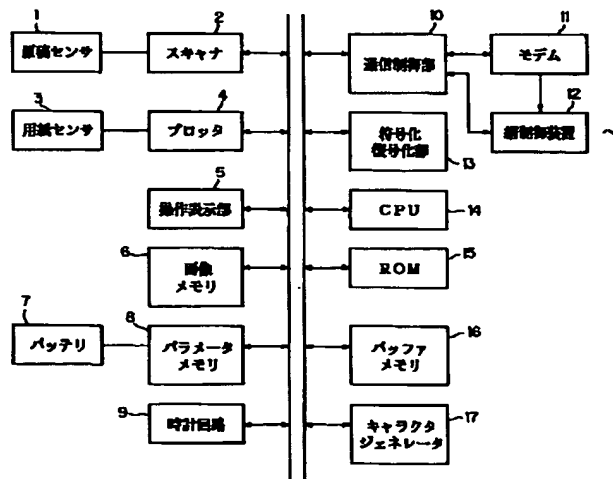
【図3】 請求項2あるいは3の発明によるファクシミリ装置の一実施例を説明するためのフローチャートである。

【図4】 請求項4の発明によるファクシミリ装置の一実施例を説明するためのフローチャートである。

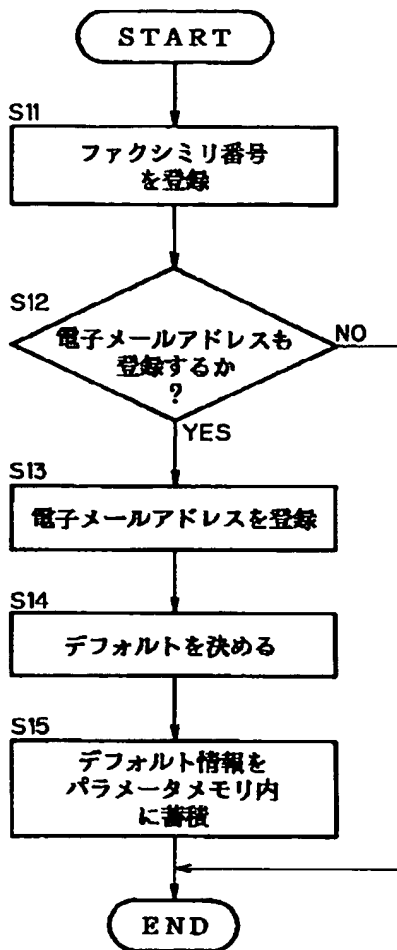
【符号の説明】

1…原稿センサ、2…スキャナ、3…用紙センサ、4…プロッタ、5…操作表示部、6…画像メモリ、7…バッテリー、8…パラメータメモリ、9…時計回路、10…通信制御部、11…モデム、12…制御装置、13…符号化復号化部、14…CPU、15…ROM、16…バッファメモリ、17…キャラクタジェネレータ。

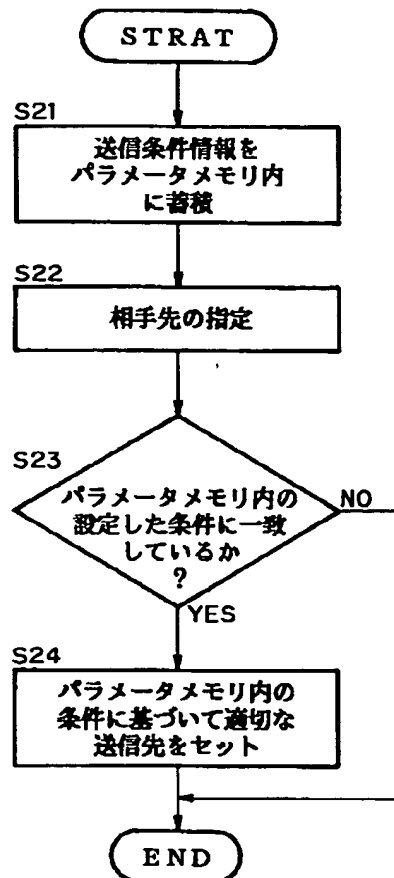
【図1】



【図2】



【図3】



【図4】

